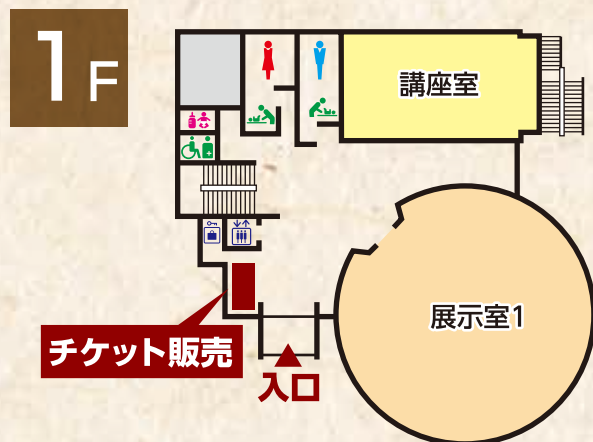




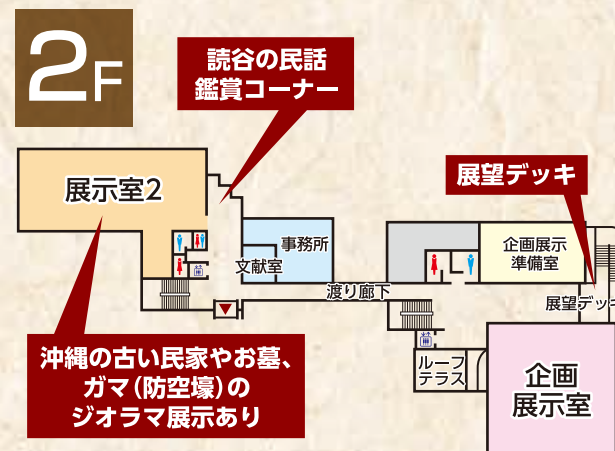
世界遺産座喜味城跡
ユンタンザミュージアム
Yuntanza Museum



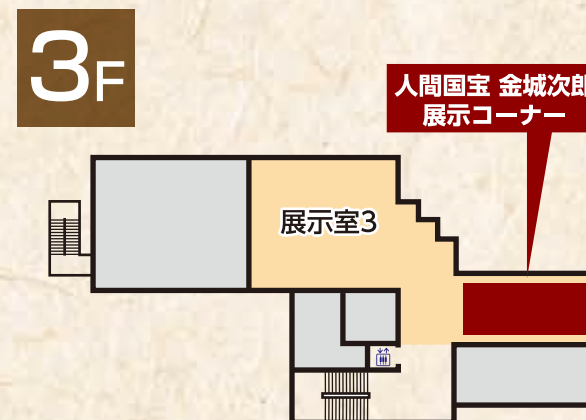
Instagramでイベント企画や
座喜味城跡オリジナルグッズを紹介中！



琉球と読谷の歴史、世界遺産に登録されている座喜味城跡の歴史・構造のほか、読谷の遺跡や文化、自然、人物などについて写真や映像、模型やレプリカ、剥製などで紹介しています。



読谷の自然、歴史、文化、戦前・戦後の暮らしについて詳しく紹介しています。沖縄戦で防空壕として使われたチビチリガマの様子を生存者の証言をもとに再現したジオラマ展示もあります。



読谷や沖縄出身作家の絵画、彫刻、工芸品などを中心に展示しています。また、「琉球陶器」人間国宝 故・金城次郎氏の展示コーナーでは、壺屋での作品から読谷に移転後の作品がご覧いただけます。

2F 展望デッキ



標高120m余の丘陵に立地しており、最も高いところからは読谷村の南部一帯をはじめ、晴れた日には那覇市の首里城まで眺望することができます。

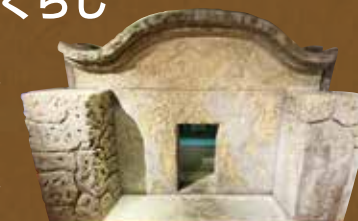
2F 休憩室・読谷の民話



読谷に伝わる民話をしまくとうば(沖縄語)のナレーションで見ることができます。しまくとうばが分からない人にも楽しんでいただけるよう字幕は標準語になっています。

2F 読谷山のくらし

お墓の中が
見れるよ！



展示室2には沖縄の亀甲墓のジオラマがあり、中の様子を見ることができます。地元の人でもなかなか入ることができないお墓の中を見てみよう！

●観覧料金

常設展	村 内		村 外	
	個 人	団 体	個 人	団 体
幼 児	無料	無料	無料	無料
小・中学生	無料	無料	300円	240円
高校生以上	200円	160円	500円	400円
65歳以上	160円	160円	400円	400円

※団体は20名様以上様から受付いたします。
※身障者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をご提示頂いたお客様、及び介助者1名は無料となります。

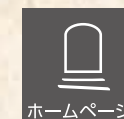
●開館時間

午前9時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

●休館日

- 水曜日、年末年始(12月28日～翌年の1月4日)
- 祝日・慰霊の日(6月23日)が水曜にあたる時には開館し、後日振替休館
- 展示替え・燻蒸などの臨時休館

●駐車場 正面駐車場／南側駐車場(8:30～18:00)



ホームページ

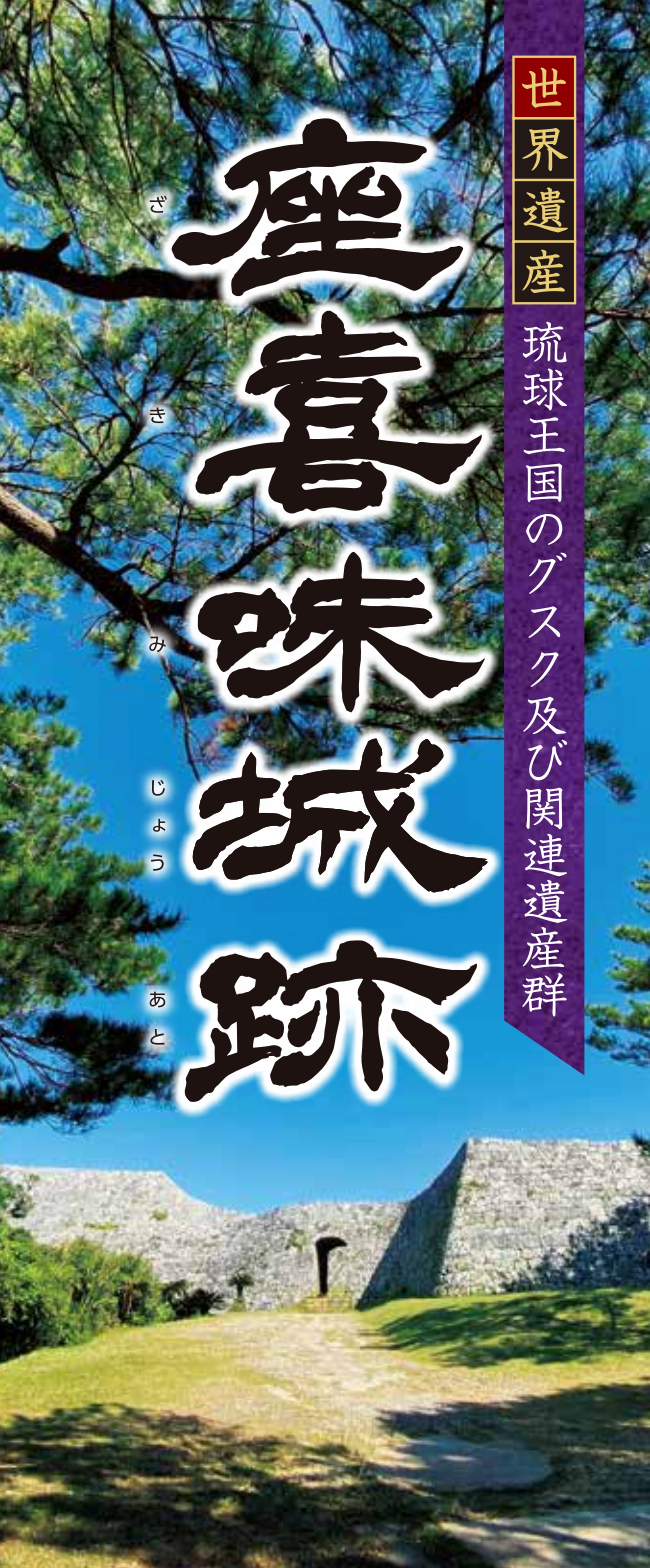


MAP



世界遺産座喜味城跡
ユンタンザミュージアム
Yuntanza Museum

〒904-0301 沖縄県中頭郡読谷村字座喜味708番地6
TEL.098-958-3141
<http://www.yuntanza-museum.jp>

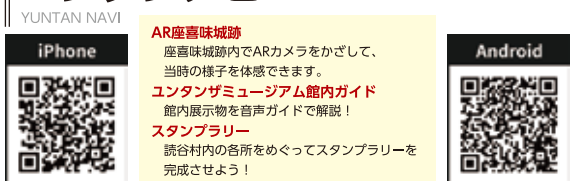


世界遺産

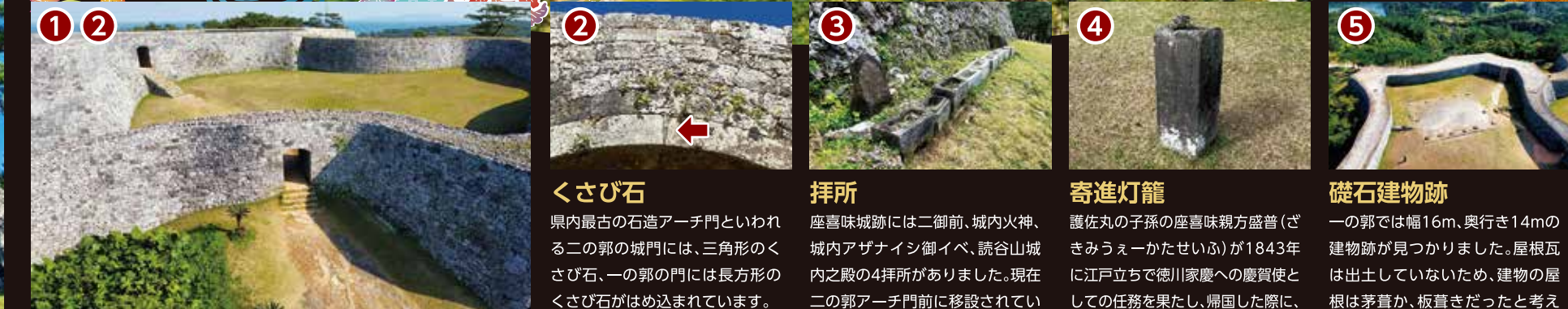
琉球王国のグスク及び関連遺産群

座喜味城跡

ユンタンナビ アプリ ダウンロード無料



●App Store/Google Playから「ユンタンナビ」で検索をしてダウンロードしてください。
※通信料はお客様のご負担となります。
●対応機種:iOS11以上がインストールされたiPhoneまたはiPad、Android5以上がインストールされたスマートフォンまたはタブレット(カメラ、GPS、Bluetoothの機能が搭載されていること)
●お客様のご利用状況により、対応機種であっても動作に問題が出る場合がございます。



①一の郭のアーチ門(奥)は復元されたものですが、②二の郭(手前)のものはほぼ当時のものを修復しています。

①一の郭のアーチ門(奥)は復元されたものですが、②二の郭(手前)のものはほぼ当時のものを修復しています。

①一の郭のアーチ門(奥)は復元されたものですが、②二の郭(手前)のものはほぼ当時のものを修復しています。

①一の郭のアーチ門(奥)は復元されたものですが、②二の郭(手前)のものはほぼ当時のものを修復しています。

①一の郭のアーチ門(奥)は復元されたものですが、②二の郭(手前)のものはほぼ当時のものを修復しています。

①一の郭のアーチ門(奥)は復元されたものですが、②二の郭(手前)のものはほぼ当時のものを修復しています。

①一の郭のアーチ門(奥)は復元されたものですが、②二の郭(手前)のものはほぼ当時のものを修復しています。

①一の郭のアーチ門(奥)は復元されたものですが、②二の郭(手前)のものはほぼ当時のものを修復しています。

①一の郭のアーチ門(奥)は復元されたものですが、②二の郭(手前)のものはほぼ当時のものを修復しています。

①一の郭のアーチ門(奥)は復元されたものですが、②二の郭(手前)のものはほぼ当時のものを修復しています。

①一の郭のアーチ門(奥)は復元されたものですが、②二の郭(手前)のものはほぼ当時のものを修復しています。

①一の郭のアーチ門(奥)は復元されたものですが、②二の郭(手前)のものはほぼ当時のものを修復しています。

①一の郭のアーチ門(奥)は復元されたものですが、②二の郭(手前)のものはほぼ当時のものを修復しています。



高倉
この高倉は、沖永良部島にあったものを民俗資料として、1976年に移築されました。穀物倉庫のため、風通しをよくして湿気を防ぐために、床下を高くしているのが特徴です。



サターグルマ(砂糖車)
サトウキビを搾る道具(圧搾機)のことで、砂糖車は木製、石製、鉄製へと移り変わり、展示されているものは鉄製になります。



厨子甕(ずしがめ)
洗骨後の骨を収める甕のことで、石製と陶製があります。年代的には石製が古く、サンゴ石で作られたものが一般的です。沖縄語では厨子甕のことを「ジーシガーミ」といいます。



※イラストはイメージです。

座喜味城は琉球国が日本、中国、東南アジア諸国との

交易を通して繁栄した十五世紀初頭、築城の名人と言われ

た読谷山按司護佐丸によって築かれたと言われています。

標高120m余の丘陵に立地しており、最も高いところから

は読谷村のほぼ全域を眺望することができます。

座喜味城跡の城壁を上空から見ると、いくつもの曲線が

組み合わさるようにできています。この曲線構造は、

現在の黒部ダムのようなアーチ式ダムの構造に似ており、

当時の築城技術の高さを感じることができます。門は中央

にくさび石をはめて2つの石をかみあわせることで造ら

れている石造アーチ門が特徴で、くさび石を用いる方法

は、他のグスクには見られません。また、石材は当該丘陵で

は産出しない琉球石灰岩が使われ、その積み方は、「布積」

を主としていますが、場所によっては「相方積」や「野面積」

が用いられるなど、沖縄県内のグスクの主要な石積技術を

全て見るすることができます。

座喜味城跡は、1945年の沖縄戦中には日本軍の高射

砲陣地として利用されました。戦後になると米軍のレー

ダー基地が設置されましたが、1956年に琉球政府の重要

座喜味城跡の石積

座喜味城跡では、主に布積の方法で城壁が積まれています。相方積、野面積も部分的に用いられており、沖縄のグスク(城)で使用された石積み

の主要な技術を見ることができます。

座喜味城跡では、主に布積の方法で城壁が積まれています。相方積、野面積も部分的に用いられており、沖縄のグスク(城)で使用された石積み

の主要な技術を見ることができます。

座喜味城跡では、主に布積の方法で城壁が積まれています。相方積、野面積も部分的に用いられており、沖縄のグスク(城)で使用された石積み

の主要な技術を見ることができます。

座喜味城跡では、主に布積の方法で城壁が積まれています。相方積、野面積も部分的に用いられており、沖縄のグスク(城)で使用された石積み

の主要な技術を見ることができます。



布積(ぬのづみ)



相方積(あいかたづみ)



野面積(のづらづみ)